

大阪の中小企業のおっさん、支配者層を語る

マスク社会からムーンショット目標まで

私は、47歳のおっさんです。

27歳で会社を起こし、20年以上経ちました。
大阪の中小企業のおっさんです。

高卒で、学のない、中小企業のおっさんが、中小企業の未来の為、
事業所の99.7%を占める中小零細企業で働く人の未来の為、
一生懸命、支配者層について語ります。

聞いてください。

まず、はじめに、新型コロナはどこにもいません。
ないものを怖がるのは、お化けを怖がるのと
同じです。子供ならいざしらず、大の大人がお化けを怖がっているなんて、
恥ずかしくないですか？

新型コロナは、テレビ、新聞をはじめとした主流メディア以外からの情報を、
しっかりと調べれば調べるほど、コロナは嘘であり、科学的な根拠も無いという、
ないない尽くしのオンパレードであることがわかります。

何が無いのか、簡単に説明します。

まず一つ、本当に毒性の強いウイルスであるかどうかの証明もされていない。
二つ、無症状者が感染させるという証明もされていない、
三つ、マスクで防げるという証明もされていない、
四つ目がきわめつけですが、そもそも新型コロナというウイルスが本当に存在しているか
どうかの証明も、今だにされていないんです。

だから、新型コロナなんて、そもそもないんですよ。
百歩譲って、かりにあつたとしても、ただの風邪以下の弱毒ウイルスです。

皆さんも、こうやって平気で外出されているということは、
人目がなければ、たまにマスクをずらして新鮮な空気を吸われているということは、
本当は、もう、うすうすお気づきではないでしょうか？

新型コロナは、恐ろしい病気ではないということ。
網目がスカスカのマスクで、超微細なウイルスの侵入なんて防げるわけもなく、
マスクが感染症対策にならないことを。本当は、もうお気づきではないでしょうか？

だから、マスクなんてなんの意味もない、ソーシャルディスタンスなんてなんの意味もない、
新生活様式なんてなんの意味もない、コロナワクチン接種なんてなんの意味もないんですよ。

意味のないことを、我々大衆にさせようとしている側に、意味があるんですよ。
そこに気づいてください。

意味のないことをさせ続けようとするに対して、私たちは警戒し、かつ恐れなければ
ならないのです。

なぜなら、意味のないことを繰り返し続けると、やがては、人生自体に意味がなくなって
しまうからです。意味のない感染症対策をやらされていることで、人生の意味、人として
生きる意味が、どんどん希薄にされていることに、皆さんはお気づきでしょうか？

自らの心に一度、問うてみてください。
コロナがはじまってからの、この1年間、
あなたの人生は充実していましたでしょうか？
あなたの自信は、高まりましたでしょうか？
あなたの自尊心は、高まりましたでしょうか？
あなたを取り巻く人との関係、ご近所の人、行きつけのお店の店員さん、
知人、友人、同僚、上司、そして家族と、
この1年間で、ココロが通じ合った喜びを感じる瞬間は、どれだけありましたでしょうか？
あなたが、自分の心に率直であれば、この問いの答えは、間違いなく、
すべてが希薄になってしまったと、答えるはずです。

1年間で、この有様ですから、これが2年、3年、5年、10年と繰り返されれば、
あなたの人生は、もっと希薄になってしまうんです。

しかし、人は、意味のない行動を取らされて、意味のない人生を送っているかもしれないという現実には耐えられないので、意味のない行動を正当化し意味づけてくれるものを抵抗なく容易に受け入れてしまいます。意味のないことを意味づけてくれるものは、テレビをはじめとした主流メディアです。

意味のない行動を、テレビ、メディアが意味づけしてくれることで、意味のない行動を取り続け、本当に意味のない人生になってしまうんです。

リモコンで自由自在にテレビのチャンネルを変えているあなたは、テレビをコントロールしていると思われていますが、ところがどっこい、あなたがテレビにコントロールされているのです。テレビというリモコンが、あなたの人生のチャンネルを自由自在に変えているのです。

だから、自分の人生を生きたいのであれば、テレビを消しましょう。どうしてもテレビを見たい人は、12チャンネルの教育テレビ、Eテレだけなら、まだましかもしれません。とにかく、日本人全員、テレビを見るのをやめれば、コロナ騒動はいまよりずっと静かになるでしょう。

なぜなら、意味のない行動を意味づけているものがなくなるのですから、自然の摂理で、息苦しいマスクを外す人が増えるからです。

現に、オーストラリアのメルボルンでは、市民の7割以上が、コロナの嘘に気づいて、マスクをする人はいなくなり、政府が市民に対し、マスクはしなくても良いと公式に発表しました。先日の4月16日に開催されたオーストラリアのサッカーリーグでは、スタジアムに詰め寄せた6万人が、ノーマスク・ノーソーシャルディスタンスで、来賓で参加した大統領もノーマスクでした。日本のマスコミは、一切そのことは取り上げていません。

だから、新型コロナは、テレビをはじめとしたメディアが作り出したメディアウイルスです。

だから、「コロナに負けるな」ではなく、「テレビに騙されるな」を標語にしなければ、コロナは永遠に終わりません。

しかし、メディアウイルスは、テレビだけではありません。
あなたの人生をコントロールするリモコンであるメディアは、
ほかにも沢山あります。

新聞、ラジオ、グーグル、ユーチューブ、フェイスブック、インスタグラム
LINE、ティックトック、アマゾンプライム、ネットフリックス、クラブハウス、等々、
これからもどんどん出てくるでしょう。

だから、テレビが本当の敵ではありません。
テレビを壊しても、次のリモコンであるメディアが次々と出てきて、
あなたの人生のチャンネルを自由自在に変えてきます。

若い人は、テレビ離れが進んでいると言われてから久しいですが、
テレビを見ていなくても、ユーチューブ、インスタグラムなどの
新しいメディア、新しいリモコンを使って、人生を操作されています。

だから、リモコンではなく、そのリモコンを操作しているのは
誰だ？ということに目を向けなければならないのです。

テレビ、メディアを操作しているのは、メディアウイルスをばらまいているのは
誰なのかということです。

リモコンを操作しているものこそが、諸悪の根源であり、
私たち一般大衆にとって、本当の敵なのです。

「コロナに負けるな」とか、言っている場合じゃないんです。

本当の敵に気づかなければ、
マスク着用、ソーシャルディスタンス、遺伝子組み換えワクチン接種という
意味のない行動を、意味ある行動と思わされ続け、意味のない人生を送ること
になり、人生が奪われてしまいます。

では、本当の敵は、誰なのか？

それは、大衆に意味のない行動を取らせることに、意味がある側、
利益を獲る側です。

では、今回のコロナで、誰が一番の利益を獲ているのか？
メディアを支配し、そのメディアを巧みに使って、
マスク着用という意味のない行動を取らせることで、
誰が一番の利益を獲ているのか？ 考えてみてください。

マスクを作っているメーカーなのか？

それは違います。
たしかにマスクが売れて利益を獲ていますが、
世界中どこの会社でも作れるので、価格競争になり、
潰れている会社もありますし、得られる利益もしれていますから
メディアを動かすほどの力はありません。

では、大企業から献金をもらっている政治家なのか？

それも違います。
たしかに、政治家は権力がありそうですが、
献金を貰うということは、その大企業の言うことを
聞かなければ、次から献金が貰えなくなりますから、
献金を払っている大企業の方が上です。
あと、テレビ新聞からバッシングをうければ、選挙に落ちて
しまいますから、メディアの方が上であり、逆に
メディアにコントロールされている側です。

では、テレビの大スポンサーである、製薬会社などの
グローバル企業なのか？

惜しいです。かなり近づきました。
たしかに、今回のコロナにより、世界中にワクチンが売れて
巨額の利益を獲るのが製薬会社です。
テレビをつければ、製薬会社のCMばかりで、
テレビ局にとっては、大スポンサーです。
テレビ新聞は、広告費を企業から貰うことで
成り立っていますから、巨額の広告費を払ってくれる
製薬会社をはじめとした、グローバル企業には頭が上がりません。

だから、メディアを支配コントロールしているのは、
製薬会社をはじめとしたグローバル企業だ！
となりますが、実は、まだまだ上があります。
製薬会社、グローバル企業を支配し、コントロールしている存在があるのです。

その存在とは、銀行です。
グローバル企業に、お金を貸している民間銀行が、実はグローバル企業より
上なのです。

どんなに資産があっても、どんなに時価総額が高くても、
企業は現金がなければ、倒産してしまいます。

下請けの外注費、社員の給与は、現金で払わなければならないからです。

グローバル企業とはいえ、同じグローバル企業間の厳しい競争にさらされているわけであり、研究開発費などの先行投資で、先に現金が出ていきますから、現金はそんなに持ってはいないのです。

かといって、先行投資をやめれば、競合のグローバル企業に負けてしまい、
市場から淘汰されてしまいます。

だから、困ったときに現金を用意してくれる銀行には、頭が上がらないのです。

日本を代表する大企業であるトヨタ自動車を例にしますが、
トヨタ自動車は、いまや国内企業という枠では収まらず、日本より海外での売上が大きい
世界有数のグローバル企業ですが、持っている現金は4.5兆円ぐらいで、銀行からの借
金は12兆円以上、持っている現金より、借金の方が、7.5兆円も多いのです。
もし、銀行から借入金を引き上げられたら、たちまち倒産の危機に陥ってしまうのです。
だから、グローバル企業は銀行には頭があがらない。銀行の方が上なのです。

では、メディアを支配コントロールしているグローバル企業を支配コントロールを
しているのが、銀行だから、銀行が本当の敵なのか？
まだまだ上があります。

UFJ 三菱銀行、三井住友銀行、シティバンクなどの民間銀行を統轄しているのは、
各国の銀行券を発行している中央銀行です。

日本の中央銀行は、日本銀行です。1万円札、5千円札の現金の正式名称は、日本銀行が発行していますから、日本銀行券と言います。

民間銀行にお金を貸している最後の貸し手は、中央銀行であり、銀行の中の銀行と呼ばれており、民間銀行をいわば支配コントロールしています。民間銀行の上は、中央銀行です。

その中央銀行は、ごく一部の中央銀行を除いては、スイスのジュネーブにある、BIS、国際決済銀行の配下にあります。中央銀行の上は、BIS 国際決済銀行でありほぼ世界中のお金をコントロールしているのは、BIS、国際決済銀行です。

そして、国際決済銀行は、公的機関ではなく、実は民間企業であり、国際決済銀行を株主として所有している人たちがいるのです。その人たちは、世界中のお金を自由に作ることが出来て、どこに配分するかを自由に決めることができる巨大な権力をもっておりその権力を行使することで、人類社会を支配していますから、支配者層と、呼ばれています。

今回のコロナで一番利益を獲られるのは支配者層であり、この支配者層が、私たち一般大衆の本当の敵なのです。

マスク着用、ソーシャルディスタンス、遺伝子組み換えワクチン接種、私たちに、意味がないことですが、支配者層にとっては、意味があり、大きな利益が得られることなのです。

だから、本当の敵が誰なのか、知らない限りは、このコロナ騒ぎは永遠に終わりません。

もし、コロナが終わったとしても、次の未知のウイルスで、コビット21、コビット22、コビット23というように、同じことが永遠に繰り返されてしまいます。

ただ、支配者層という言葉が聞かれると、皆さんはきっと、「なんだ陰謀論か」、陰謀論者の言うことなんかと、聞く価値もなければ、それについて考える価値もないと、一刀両断に切り捨てることでしょう。

これも、メディアによる、コントロールです。リモコン操作です。

その国の紙幣を発行している、ほぼすべての国の中央銀行が、
実は公共ではなく、民間企業であり、ご多分に漏れず
日本銀行も、ジャスラックに上場している民間企業であり、
国際決済銀行も民間企業、プライベートカンパニーであることから、
支配者層の存在を抜きにして、この世界の事態に迫ることは無理なのです。

支配者層なんて、テレビや映画の話であって、実在するわけがないと
思われていることでしょう。

しかし、人類の歴史を振り返れば、支配者層がいるというのは、当たり前のことです。
なぜなら、人類は支配する側、支配される側の戦いの歴史だからです。

支配の歴史ですが、世界に目を向けると、古くは紀元前2世紀の古代バビロニア帝国から
はじまり、ギリシャ帝国、ローマ帝国、モンゴル帝国、イギリス帝国と、何千年とかけて
支配が移り替わり、日本においても、邪馬台国からはじまり、大和朝廷による奈良時代か
ら平安時代、武士による鎌倉時代から江戸時代、と支配が移り変わっています。

支配する側は、支配する力が弱まった時、支配される側である、
大衆が蜂起して、支配されていた側に、支配する側が打倒されます。
または、別の地域を支配している支配者、拮抗している勢力に攻められることで、
支配が入り替わったり、滅んだりしているのが脈々と続く人類の歴史です。
どんなに栄華を誇った支配者も、盛者必衰、猛きものもついに滅びぬ、
で、新しい支配者にとってかわられてきました。

支配者の長年の野望は、出来るだけ長く支配しつづけたい、
未来永劫支配し続けたいということですから、
今の時代の支配者は、過去の支配者の失敗の歴史から学んで、
支配の仕方が、ものすごく巧妙になっています。

だから、私たちは、支配されているのにもかかわらず、
支配されていることに気づかないのです。

支配されている側が、支配に気づいていない、
搾取されていても、搾取されていることに気づいていない、

奴隷が、奴隷とっていない。
仕組まれた自由を本当の自由と思い込んでいる。

これが現在の人類を支配している支配者層が、
編み出した支配の仕方、未来永劫支配し続けるシステムなのです。
今回のコロナは、支配システムの最後の仕上げです。

支配者層が、今回のコロナによって、得られる利益は、
支配体制の強化であり、感染症対策という名目で、大衆分断をより徹底することで、
未来永劫この支配が続く、より強固なシステムができることにあります。

利益といえば、お金だと思われませんが、
支配者層の欲しい利益は、お金ではありません。

なぜなら支配者層は、世界の中央銀行を支配し、通貨発行権を持っていますから、
お金は自由自在に作れます。
支配者層にとっては、お金は大衆を支配するための道具にすぎません。

つまり、現在のお金を生み出している通貨発行制度は、
大衆の時間と付加価値を生み出す力を、大衆に気づかれることなく、
大衆から搾取するために編み出されたものです。

昔は、奴隷に言うことを聞かせるためには、鞭を振るっていましたが、
鞭で叩かれた奴隷は、当然、叩いた相手を恨むでしょうから、
隙あれば反抗しようとし、反抗できる隙を作らないように管理者を沢山雇わなければ
ならず、その管理者達が奴隷側に味方しないよう、管理者を管理する必要もあり
奴隷を管理するのはけっこう大変でした。

奴隷を鞭で、無理やり従わせていたシステムが不効率だったので、
鞭よりも効率が良い、お金にかえたのが、現在の支配システムです。
だから、本質は、奴隷からの搾取であり、搾取するために従わせる道具が、
鞭から、お金にかわったのにすぎません。

だから、お金以上の抽象度で物事を考えることができなければ、
この支配設計には、全く気づけないのです。

お金以上の抽象度で考えれば、大衆分断がどうして、支配者層の利益になるのか見えてきますし、その利益の発生源を消滅されることができれば、支配者層の力を無くすことができ、コロナ茶番を終わらすことができます。そもそも支配者層が、なぜ大衆分断をしたいのか？

それは、大衆が力をあわせて一致団結されると、支配者層は、たちまち力を失い支配を維持できなくなり、大衆からの搾取ができなくなるからです。

常に支配する側が圧倒的に少数であり、支配される側である大衆が圧倒的に大多数です。

圧倒的少数による圧倒的多数の支配を維持するには、大衆を分断することが必須なのです。

支配者層は、支配設計を維持強化するため、政府とメディアをつかって、大衆分断をしつづけてきました。

大衆分断の総仕上げが、政府とメディアが扇動している新型コロナウイルス対策です。

マスク着用、三密をさける、ソーシャルディスタンス、ステイホーム、飲食店の営業時間短縮、これらはすべて、大衆分断に繋がります。

その中でも、感染症対策として最初にはじまった、マスク着用ですが、実は、これこそが大衆分断の強力なツールで、たかがマスクぐらいと、気軽に付度マスクをされていますが、されどマスクであり、終わりの始まりですから、マスク社会は、断固反対しなければなりません。

何を隠そう、大衆分断のツールとして、昔から使われてきたのがマスクです。昔の奴隷は、口に鉄のマスクを嵌められていました。マスクをさせる目的は、分断であり、奴隷が歯向かわないようにするためです。

歯向かうとは書いて字の通り、歯による噛みつきですから、鉄で口を覆うことで噛みつきという武器を無力化し、歯向かわないようにすることができます。あと、奴隷同士が自由に会話ができると、コミュニケーションが密になって仲良くなると団結してしまうから、鉄で顔の下半分を覆うことで、表情を見えなくして、会話もできなくすることで、相手の感情が感じ取りにくくなり、疑心暗鬼が生じて、奴隷同士が

いがみあうようになり、1人1人バラバラに分断することで、団結の力を削ぐことができます。

現在に話を戻しますが、道行く人の99.9%は、マスク着用しています。
マスク社会は、ほぼ完成してしまいました。

マスク社会とは、権力には、けっして歯向かうな、黙って言うことを聞け、
服従しろ、大衆同士いがみあえ、ということを暗示した社会です。

だから、マスクは、おわりのはじまりであり、
街行く99.99%の人がマスク着用していても、一向にコロナは収まらないのです。

支配者層が、未来永劫、大衆を支配し搾取し続けることができる、
強固なシステムを作る為の下地が、マスク社会です。

建築物で例えると、マスク社会の完成は、基礎工事がおわった段階です。
当然ながら、基礎工事で終わりではなく、次は上物である
建物の建築がはじまります。

これから建てられる建物は、大衆の幸福に寄与する美しい建物ではなく、
自らが収監される巨大な監獄を、大衆自らが進んで、自らの手で、
建築するという愚行に邁進しようとしているのが、今の状態です。

その巨大な監獄が完成した社会は、生まれてから死ぬまで、
ただひたすら搾取されつづける社会になってしまいます。

現在行われている搾取の一つ、ウーバーイーツで、マクドナルドのハッピーセットを
頼むぐらいの搾取は、まだまだかわいいものです。

マスク社会という基礎が出来た、上に作られる社会は、
AIによる超監視社会です。
AIによって監視され、AIによってコントロールされ、
AIによって評価される社会で、
私たちのプライバシー、自由、人権など、一切無い社会です。

そんなSF映画みたいなこと、現実にはありえないと思われたかもしれませんが、

けっして、私の空想話ではなく、極めて現実的な話であり、それには根拠があります。

行政のトップである内閣府が、これからマスク社会という基礎の上に、どんな上物を建てようとしているのか、ネット上で、2018年から、設計図を公開しており、それが根拠です。

その設計図は主に2つあります。

「スーパーシティー構想」「ムーンショット目標」という名称で、内閣府が、ネット上で、2018年から公開しており、誰でも見れます。

ぜひグーグルで、スーパーシティー構想、ムーンショット目標、それぞれで検索してみてください。

ただ、当然ですが、スーパーシティー構想、ムーンショット目標は、大衆分断、大衆からの搾取が目的であるとは、表現されていません。

自分が今、掘らされている穴が、実は、殺された後に自分が埋められる墓穴であるとばれてしまうと、穴を掘る作業をやめてしまいますからね。

政府マスコミの公式発表では、スーパーシティー構想は、AI（人工知能）などの先端技術をまちづくりに生かした住みやすい未来都市の実現と表現されており、ムーンショット目標は、2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現と表現されています。

スーパーシティー構想、ムーンショット目標が実現すれば、今より便利で快適な街になって、今より自由に健康で豊かに生きられる社会になるかのようなイメージで表現されていますが、そんな甘言に、そそのかされてはいけません。

忘れないでください。

政府、マスコミを上からコントロールしているのは、支配者層であり、支配者層の狙いは、大衆分断であり、未来永劫、大衆を支配し搾取し続けることができる強固な支配システムの構築です。

スーパーシティー構想の本当の狙いとは、支配者層による大衆の完全監視、完全データ収集、完全評価です。

ムーンショット目標の本当の狙いとは、支配者層による大衆の完全無力化が目的です。

完全監視、完全データ収集、完全評価、完全無力化、この4つが揃えば、絶対にひっくり返されない、完全大衆分断が実現し、過去の支配者と同じ轍を踏むことのない、未来永劫、大衆を支配し搾取し続けることが出来る強固な支配システムが完成します。

逆に言うと、この4つが揃わない限り、支配者層は、いつかは、ひっくり返されるかもしれない、いつかは大衆が一致団結蜂起して、自分たちが駆逐されてしまうかもしれないと、ビクビクしています。

それだけ、圧倒的少数による圧倒的多数の支配は、とても微妙なバランスで成り立っているからです。

歴史上の支配者は、このバランスを崩しとき、力を失い打倒されたのです。

支配者は、大衆から搾取するため、誰かに力を配分しなければなりません。その配分した力が、ヒエラルキーの下層に向かわず、逆に上層に向き始めたら支配者は力を失います。

この説明だけだとわかりにくいと思いますので、適切でないかもしれませんが、江戸時代をモチーフにして、たとえ話にします。

ある大名が、年貢を納めるのを拒否している農民に対し、年貢を取り上げようとした場合、その大名は、側近の部下に武力を配分し、すなわち、刀、やり、鉄砲、兵士を側近の部下に配分して、年貢を納めない農民に向かわせます。

武力を配分された側近の部下が忠実に言うことを聞いて、いやがる農民に武力を行使して、年貢を取り上げれば、大名は自らが動かず、利益が得られますから搾取成功。

しかし、もし側近の部下が、年貢をいやがる農民の気持ちもわかると、農民と意気投合託して、配分した武力を、自分に向けてきた場合、それを見た別の側近の部下も、実は自分も前から不満があったと、配分した武力を自分に向けてきた場合、たちまち大名は支配する力を失います。それを繰り返した来たのが、支配の歴史です。

だから、現在の支配者層は、誰に力を配分するか、力を配分する先を絶対に間違えないように細心の注意をはらっているのです。

現在においては、支配者層が配分する力とは、経済力、すなわちお金です。

武力である軍事力も、経済力がないと維持拡大はできませんから、現在においての最大の力は、経済力、すなわち、お金です。

支配者層は、誰に経済力をつけさせるか、平たく言うと、誰を金持ちにするか、経済力の配分によって、大衆を支配し搾取し続けることが出来る支配システムを維持しています。

支配者層は、自分に逆らう者、やがては逆らう可能性の高い者を経済的に貧しくして力を奪い、けっして逆らわない、従順で盲目で、支配システムを強化してくれる者を、経済的に豊かにし、力を与えます。

その代表例が、学歴社会です。

学歴社会とは、有名大学を出ている方が、大企業に入り易く、高い地位にも就きやすく、結果、経済的に豊かになれる可能性が高くなるという社会です。

この国を実質的に動かしている高級官僚、大企業の社長は、ほぼ全員、高学歴者です。

現在の教育システムは、もちろん支配者層が作ったもので、支配者層の存在にけっして気付かないよう、教科書に書かれていることに疑問を持たず鵜呑みにして、自分の感覚、自分の考えよりも、権威が言っていることを優先し、権威に従うという人間を作る為のシステムです。

支配者層にとって、高学歴者とは、けっして逆らわない、権威に対し従順で盲目で、支配システムを強化してくれる者ですから、大きな経済力を配分し、多くの人を従わせることができる力を与えています。

学歴社会だけでも、かなり強固な大衆支配システムなのですが、支配者層にとっては、まだ完璧ではないようです。

なぜなら、現在の社会は、教育システムから外れた人でも、社会で事を成すことで、経済力をつけて、力を持つことが出来る社会だからです。

たとえば、学校では落ちこぼれだったけど、美味しいラーメンを作ることが

できたので飲食店として大成功した、独創的なアイデアの持ち主で、起業したら
沢山のお客さんから愛されて大成功したなどで、たとえ、高学歴でなくても、
教科書を信じていなく、むしろ疑っていて、権威なんか糞くらえと、
自分の頭で考え、自分の感覚を頼りに行動できる人であっても、実社会で事を成すこと
で、経済力をつけることができ、力を持つことが出来る社会です。

私の学歴は、高卒です。26歳で起業し、人の3倍努力して、
実社会で頑張ることで、中小企業を20年以上経営できており、
ささやかではありますが、家族と社員と共に、日々、幸せを感じて生きております。

言い方悪いですが、こんな腐った社会でも、希望をもって、頑張るって生きることが
できたのは、支配者層がコントロールできない部分があったからです。

ほんの一握りのスーパーエリートを除いた、大衆の幸福は、支配者層がコントロール
できない部分にあります。

そこをぶっ壊そうとしているのが、今回のコロナ茶番であり、今回の感染症対策であり
今回の新生活様式です。

だから、許せないのです。だから、私は、あくまで自称ですが、
日本の中小零細企業380万社のおやじを代表して立ち上がりました。
ぜひ私に続いて、誰よりもがんばってきた自分、それをささえてくれた家族、
いつ潰れるかわからない中小企業でも辞めずについてきてくれた社員と
その家族のささやかな幸せを守るため、日本全国380万社の中小企業のおやじから
1人でも多く立ち上がって頂きたいと切に願っております。

今ならまだ間に合います。

マスク社会という基礎工事が終わった段階なので、
上物である、スーパーシティー構想、ムーンショット目標は、まだ完成していません。

しかし、こうしている間も、スーパーシティー構想、ムーンショット目標は、
完成に向け、着々と進んでいます。

完成してしまうと、支配者層による大衆の、完全監視、完全データ収集、

完全評価、完全無力化が実現し、生まれてから死ぬまで、ただひたすら搾取されつづける社会になってしまいます。

ちょっと勘のいいひとなら、この社会が、どんどん監視社会に進んでいるということは分かっておられるでしょう。

マイナンバーにありとあらゆるデータを紐づけることで、職業、収入、趣味、嗜好、交友関係、行動履歴など、すべて政府に筒抜けになり、個人のプライバシーが守られない監視社会は反対！と言われている方も実際多いです。

その逆に、監視社会を容認する方も増えており、その背景として、昔と違い、凶悪な犯罪が増えており、犯罪者不審者が増えている社会であるから、未然に犯罪を防ぐため、ある程度、監視社会になるのは仕方がないという意見もあるからです。

監視社会賛成するか、反対するか、この二択で思考を止めてしまっただけでは、支配者層の思うつぼです。

なぜなら、監視社会は、支配者層による強固な支配システム構築のための第一段階に過ぎなく、我々大衆が恐れないといけないのは、その先に作られる社会です。

だから、監視社会賛成反対、是か非かの議論は不毛です。

支配者層にとって、完全監視とは、大衆一人一人を、24時間365日、四六時中ネットに繋ぐことです。

大衆のリアル空間の活動を制限し、オンライン空間での活動を広げさせている、新生活様式は、大衆が自ら進んで四六時中ネットに繋がる生活様式です。

語呂がいいので、あえて完全監視と表現しましたが、正しく表現すると完全ネット接続です。支配者層にとって、監視はいつでもいいことです。ストーカーでもないのに、あなたのことをネットで、のぞき見して、喜んでいるわけではありません。

支配者層は、大衆一人一人のビッグデータを集めたいのです。

四六時中ネット接続することで、いつどこで何をしているのか、誰といるのか、どのようなサイトを見て、どのような映像を見て、どのようなものを買って、どのような趣味嗜好があって、SNSにはどのような記事を見て、どのような発信をしているのか、ありとあ

らゆるビッグデータ収集が可能になります。

その収集した膨大なビッグデータを、A I が分析解析することで、大衆一人一人の思考パターン、行動パターンが把握できます。データが多く集まって、A I が分析解析を繰り返せば繰り返すほど、ディープラーニングが進んで、より精度が高まっていきます。

その結果、マス単位ではなく、一個人単位で、その人物が、将来、どのような思考を持ち、その結果、どのような行動を取るのかを予測することができます。

これができれば、将来、対抗してくる勢力が育つ前、マスを形成する前に、その芽を摘むことができますから、未来永劫、大衆を支配し搾取し続けることが出来る強固な支配システムが完成します。

支配者層は、ずっとこれがやりたかったのです。

やりたかったけど、出来なかった。

なぜなら、実現させるために必要なテクノロジーが追い付いていなかったから。

テクノロジーですが、ここ10年で飛躍的に進化しました。

スマホなどのモバイルコンピューターの普及、

A I の誕生、5 G インフラの敷設、高速動画配信、クラウドサービスの充実、

自動運転技術など、完全支配システム構築に必要なテクノロジーが揃いました。

テクノロジーが揃ったので、完全支配システム構築へのスタートとして、支配者層がずっと前から用意していた、新型コロナウイルスによる偽パンデミックを世界同時に発動させたのです。

だから、マスク着用、ソーシャルディスタンス、三密回避などの感染症対策は、

感染症対策というのは偽りであって、本当の目的は、大衆自らが進んで、時間をかけて現在の社会システムから離れていき、新しい支配システムに組み込まれるよう行動変容を起こさせることです。

あたかも、家畜の羊が、自らの足で、羊飼いの犬に先導されて、新しい放牧地に移動するかのごとくです。

だから、マスク着用、ソーシャルディスタンス、三密回避などの新生活様式に従っても、次は、ワクチン接種、次は、マイクロチップ埋め込み、次は、完全外出禁止、と、次々と、新しい支配システムに組み込まれるよう、一段ずつ階段を昇らされるだけです。

今、かろうじて享受できている自由を守るためには、今すぐ、マスクを外して、素顔で、人と人の距離を縮めて、団結して、抵抗しなければならないのです。

支配者層がやりたいこと、完全評価について、もう少しご説明します。

支配者層は、自分が持っている絶大な力を、誰かに配分することで、支配を維持し、大衆からの搾取を可能にしています。

現在の力とは、前述申しました通り、経済力、すなわちお金です。

支配者層は、誰に経済力を与えるか、誰をお金持ちにさせるかに細心の注意を払っています。

ここを誤ってしまうと、支配システムが崩壊してしまう危険性があるからです。

将来、絶対に歯向かってこない人物、企業、国に経済力を与えることで力を分配し、将来、歯向かってくる可能性がある人物、企業、国に対しては、経済力を与えず、貧乏にし、力を弱くする、これを正確に実行するためには完全評価が、必要なのです。

完全評価とは、大衆一人一人、24時間365日ネット接続し、ありとあらゆるビッグデータを収集し、人工知能が分析解析し、人工知能が評価、スコアリングします。

完全評価が実現したあとの社会とは、人工知能が人を評価する社会でありスコアによって、人としての権利が拡大したり、制限されたりする社会です。

当然ながら、人工知能を隠れ蓑にして、実際は、支配者層が人工知能をコントロールしていますから、支配者層にとって、都合がよい人間であれば、ハイスコアになりますし都合がわるい人間であれば、ロースコアになります。

そんなまたSF映画みたいなこと言ってしまうかと思いますが、既に、これに近い国は、地球上に存在しています。

それは、中国です。

中国では信用スコアというものがすでに稼働しており、国民一人一人に対しスコアが付けられており、スコアが低いと、移動が制限されたり、スコアが低いと、WIFI 契約するのにも金額が上がったりするそうです。上海にいる取引先の社長が、言っていました。

信用スコアシステムの人工知能のアルゴリズムを作ったのは、当然ながら中国共産党であり、中国共産党に都合の良い人物はスコアが高くなり、中国共産党に反感を持ち反発するものは、スコアが低くなるよう設定している可能性が高いです。

恐ろしいことに、携帯電話の着信音も、スコアが低い人からの電話だと警告音のような、けたたましい着信音に変わるそうです。

スコアによって、人が差別される社会、スコアが低い人と、うかつに会話すると、自分のスコアが下がってしまう社会、恐ろしいと思いませんか？

信用スコアは、現時点では、交通や通信といった一部のインフラ機関との連携ですが、今後、ありとあらゆる機関との連携が進んでいくことは容易に予想できます。

中国の信用スコアを皮切りに、ソーシャルスコア、国民スコアなど、各国によって、名称は様々ですが、国民スコアリングのシステムが全世界に広がっていくことでしょう。

日本でも、去年あたりから、突然、上級国民という言葉がはやりはじめましたが、ソーシャルスコア、国民スコアを受け入れさせるための下準備だと思います。

ソーシャルスコア、国民スコア稼働後の完全評価社会は、

ワクチン拒否すれば、スコアが下がる、
政府の指示に従わなければ、スコアが下がる、
反対運動なんかすれば、めっちゃスコアが下がる、
その結果、貧しくなる。

その反対に、ワクチンを迅速に進んで打つと、スコアが下がらない
政治の指示に迅速に従えば、スコアが下がらない
政府を賛美すれば、スコアが上がるかもしれない、

その結果、最低限の暮らしは保証される。
それが、完全評価後の社会です。

こんな社会で、皆さんは幸せに生きてますでしょうか？
こんな社会になってしまったら、私たちの次の世代以降、生まれてから死ぬまで
搾取され続ける奴隷で、反抗できるチャンスも一切なく、その次の世代、
またその次の世代も、永遠の奴隷です。

そんな社会にならないよう、阻止、反抗できるのは、あと数年だけです。

だから、マスクは外しましょう、緊急事態宣言なんか無視しましょう。
それが私たちを守ること、次の世代に対する責任です。

最後の支配者層がやりたいこと、完全無力化についてご説明します。

完全監視、完全データ収集、完全評価、これだけで、ほぼ完全無力化を
実現できておりますが、大衆にはまだ武器が残されています。

それが、運動能力です。
拳でなぐったり、足でキックをしたり、握力で首を絞める
など、運動能力も武器です。

支配者は、大衆の武器を取り上げることで、支配を維持してきました。

古くは、豊臣秀吉の刀狩です。
現在でも、日本では、銃や日本刀を持つことは、銃刀法違反で
原則禁止されています。

完全無力化とは、運動能力すら取り上げて、大衆を完全丸腰にすることです。
運動能力は使わないと、どんどん弱っていきます。
運動能力の取り上げ方は、運動をさせないことです。
コロナ以降、運動能力を弱らせる施策が次々と取られています。

政府は、全国民に対し、外出自粛、ステイホームの推奨をしていますが
家に閉じこもっていると、歩かないですから、運動不足になり、運動能力が下がります。
コロナ以降、私の周りでも、つまづいてあばら骨を折った、つまづいて前歯が

3本折れた、など、運動能力低下が原因と思われる人が続出しています。

あと、子どもや若者に対しては、甲子園中止、部活動の制限、公園での遊びを制限、をしています。運動能力が一番伸びる年齢に、運動をさせないことで運動能力の伸びが鈍化します。

私は、10歳の息子がいますが、クラスの半分は、ボール投げもできないようです。子どもの身体能力は、ここ数年でかなり下がっているようです。

支配者層このようにして、着実に、大衆の運動能力を奪っています。

そして、運動能力を奪う極めつけが、ムーンショット目標です。

ムーンショット目標とは、人間を家に閉じ込めて、脳とコンピューターを直接に繋ぎ、肉体は一切動かさず、アバターを操作して、生活するという新しい生活様式を2030年までに実現させようという内閣府の目標です。

政府は、人が、身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会の実現と謳っておりますが、解放ではなく、封鎖です。

肉体を完全に動かさないわけですから、筋肉が極限にまで退化し、ヒョロヒョロで、箸すら、持てないほど、弱ってしまいます。

ムーンショット社会により、大衆は運動能力という武器も完全に奪われ、大衆の完全無力化も同時に完成します。

マスク社会という基礎に、スーパーシティー構想、ムーンショット目標という上物が完成することで、完全監視、完全データ収集、完全評価、完全無力化が実現し、未来永劫、絶対にひっくり返されることのない、大衆を支配し搾取しつづけることができる強固な支配システムが出来上がります。

なんども言いますが、今ならまだ間に合います。

現時点では、マスク社会という基礎が完成しただけで、あなたが建設工事に加わらなければ、上物は完成しません。

マスクをして、三密を避けて、ソーシャルディスタンスをして、緊急事態宣言を受け入れている、あなたは、建設工事に加わっている

作業員です。

自分が今、掘られている穴が、実は、殺された後に自分が埋められる墓穴であることに気づいてください。

これから建てられようとしている建物は、
大衆の幸福に寄与する美しい建物ではなく、
自らが収監される巨大な監獄を、大衆自らが進んで、自らの手で、
建築するという愚行に邁進しようとしているのが、今の状態です。

その巨大な監獄が完成した社会は、生まれてから死ぬまで、
ただひたすら搾取されつづける社会になってしまいます。
そんな社会を後世に残して、いいのでしょうか？
言い訳は有りません。

だから、今すぐマスクを外しましょう。

あなたが自分の頭で考え、コロナの嘘、PCR検査の嘘、ワクチンの嘘に気づけば、
この社会は一瞬で変わります。これからの幸せな社会は、あなた次第です。

ぜひ、我々と一緒に声を上げて、コロナ茶番を一刻も早く終わらせましょう！